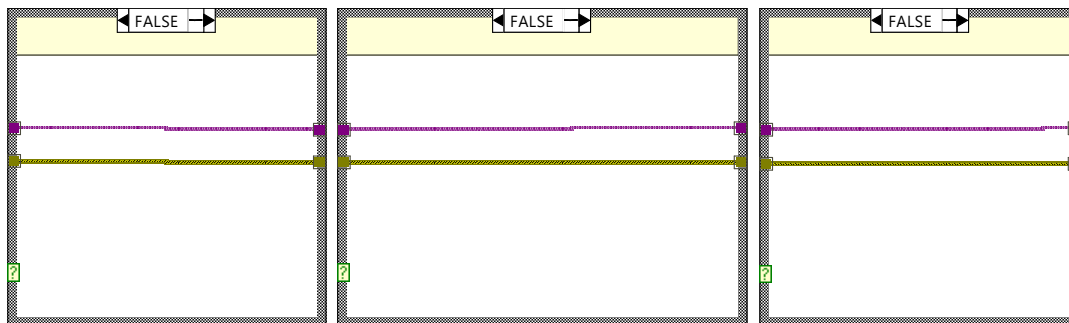
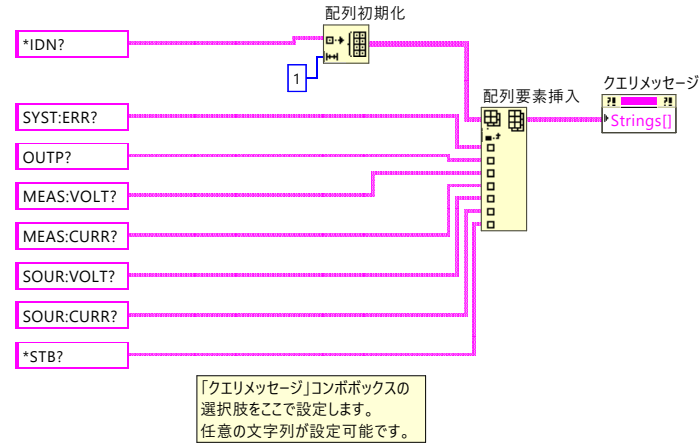
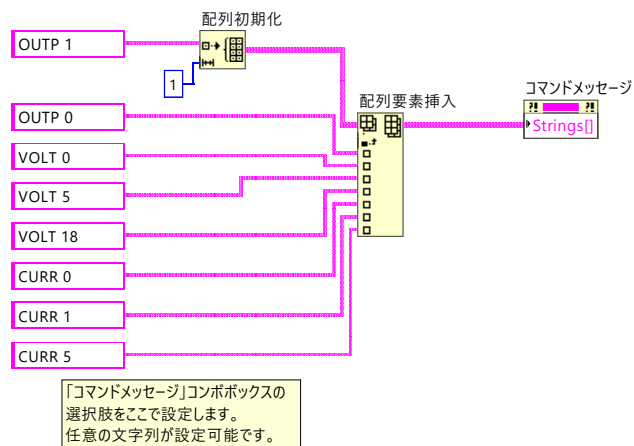
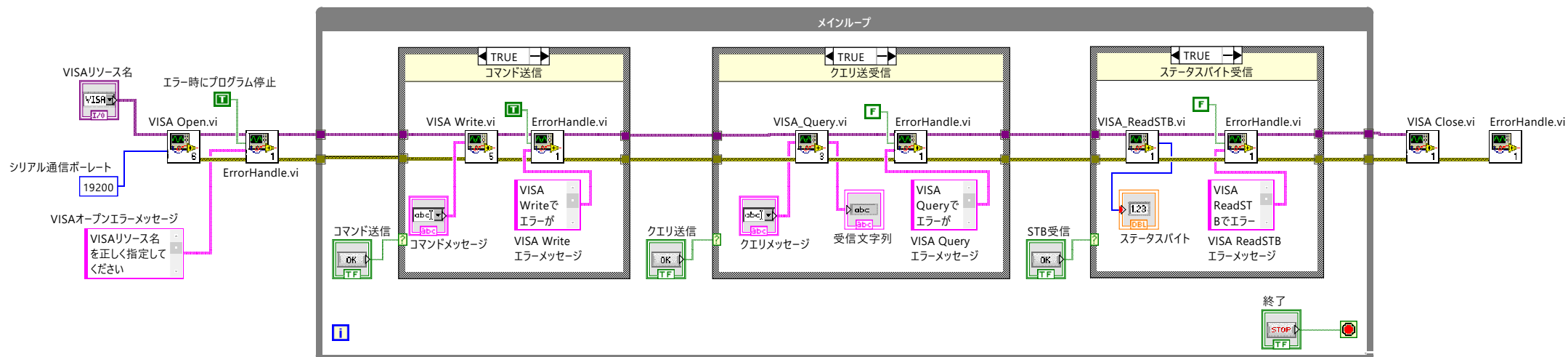


Sample\_vi\_Ver101.vi

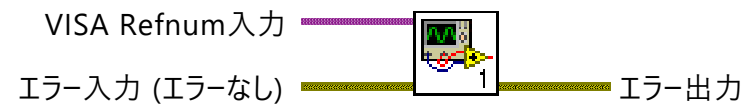


	VISAリソース名
	<input type="text" value="."/>
コマンド送信	コマンドメッセージ
<input type="button" value="Command"/>	<input type="text"/>
クエリ送信	クエリメッセージ
<input type="button" value="Query"/>	<input type="text"/>
	受信文字列
	<input type="text"/>
STB受信	ステータスバイト
<input type="button" value="ReadSTB"/>	<input type="text" value="0"/>
	<input type="button" value="終了"/>

「VISAリソース名」プルダウンメニューから接続先を選んで「操作-実行」を行うと計測器と接続しコマンド、クエリの送受信が可能になります。  
コマンド、クエリは任意の文字列入力も可能です。  
シリアル通信の場合、ReadSTBは使用できません。\*STB?をお使いください




## VISA Close.vi




VISA Refnum入力

•  ▼

エラー入力 (エラーなし)

ステータス	コード
	0
ソース	
<div></div>	

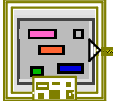
エラー出力

ステータス	コード
	0
ソース	
<div></div>	

VISA Refnum入力



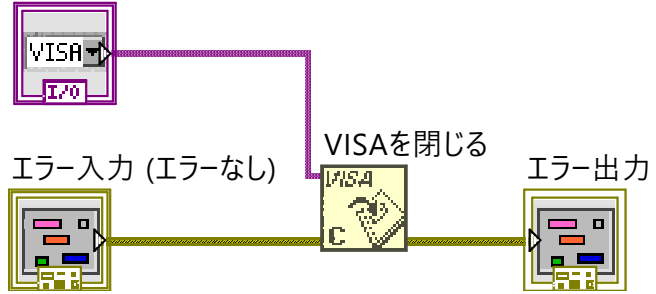
エラー入力 (エラーなし)



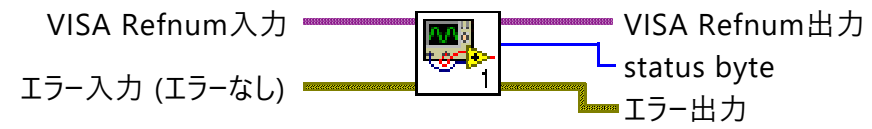
VISAを閉じる



エラー出力



## VISA\_ReadSTB.vi



VISA Refnum入力



VISA Refnum出力

status byte

エラー入力 (エラーなし)

ステータス コード



d0

ソース

エラー出力

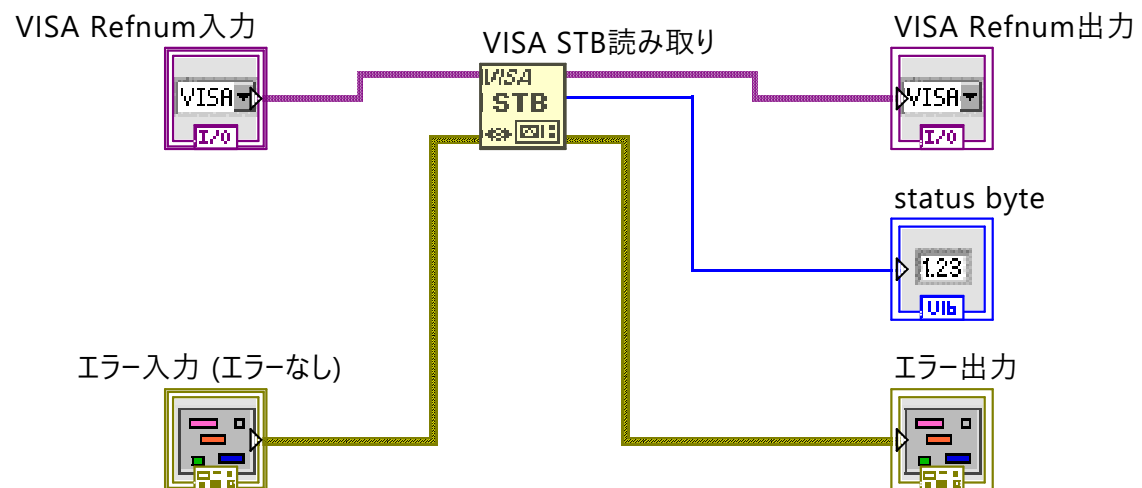
ステータス コード



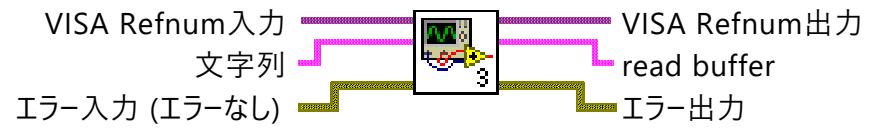
d0

ソース






## VISA\_Query.vi



VISA Refnum入力



文字列

エラー入力 (エラーなし)

ステータス コード



0

ソース

VISA Refnum出力

read buffer

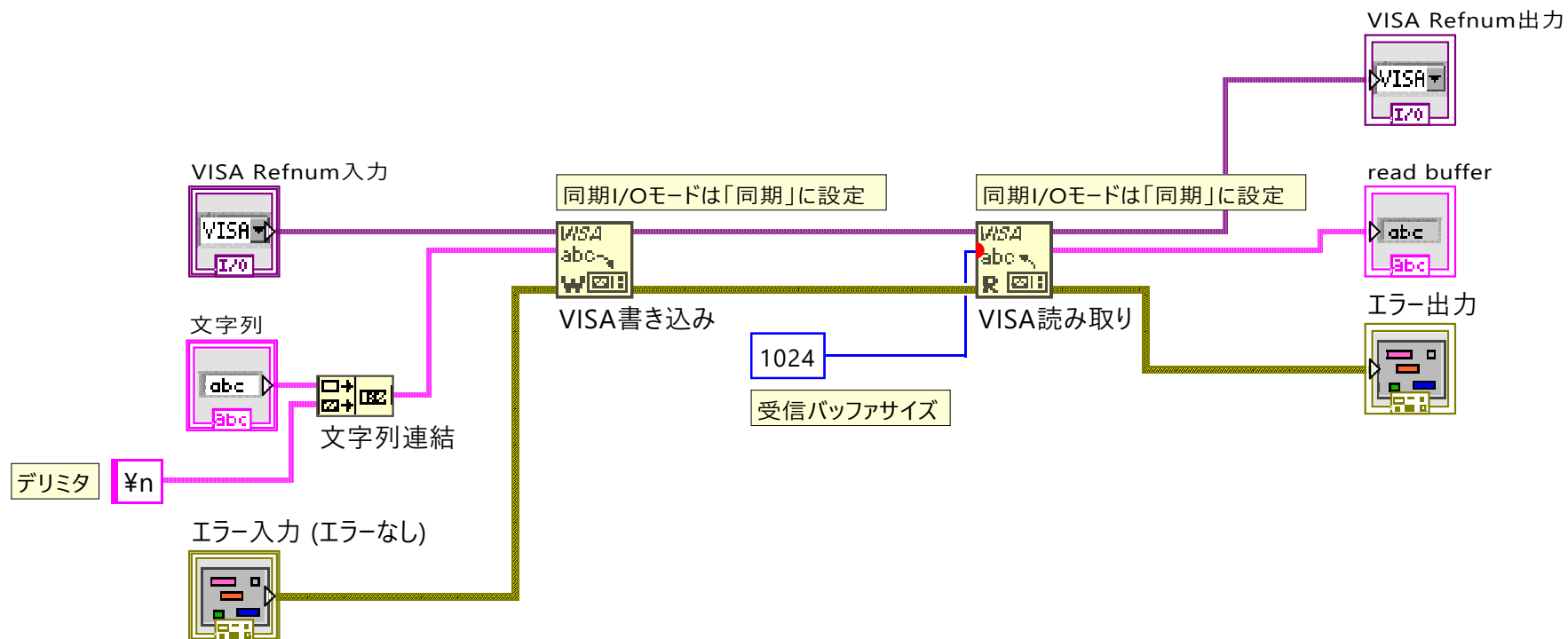
エラー出力

ステータス コード

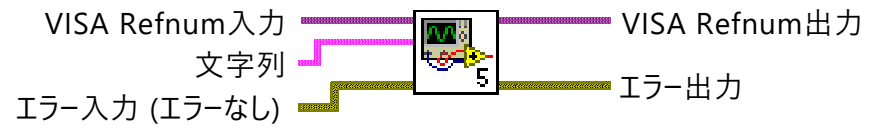


0

ソース




## VISA Write.vi



VISA Refnum入力


文字列

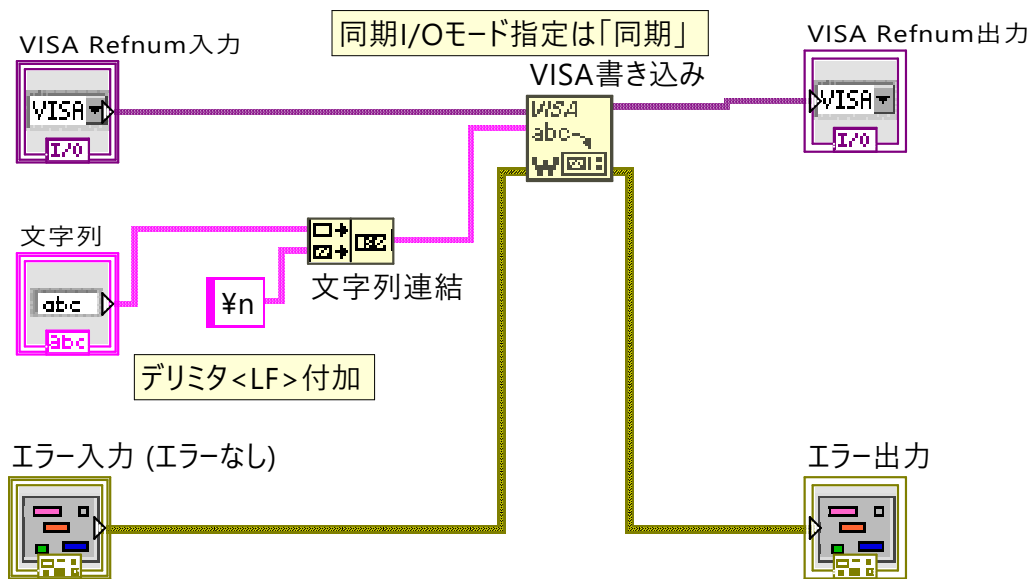
エラー入力 (エラーなし)

ステータス	コード
	0
ソース	
<input type="text"/>	

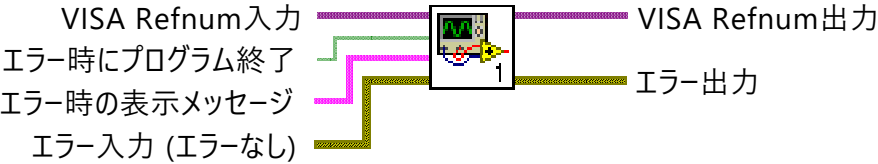
VISA Refnum出力

エラー出力

ステータス	コード
	0
ソース	
<input type="text"/>	



ErrorHandle.vi





VISA Refnum入力

エラー時の表示メッセージ

エラー入力 (エラーなし)

ステータス

ソース

VISA Refnum出力

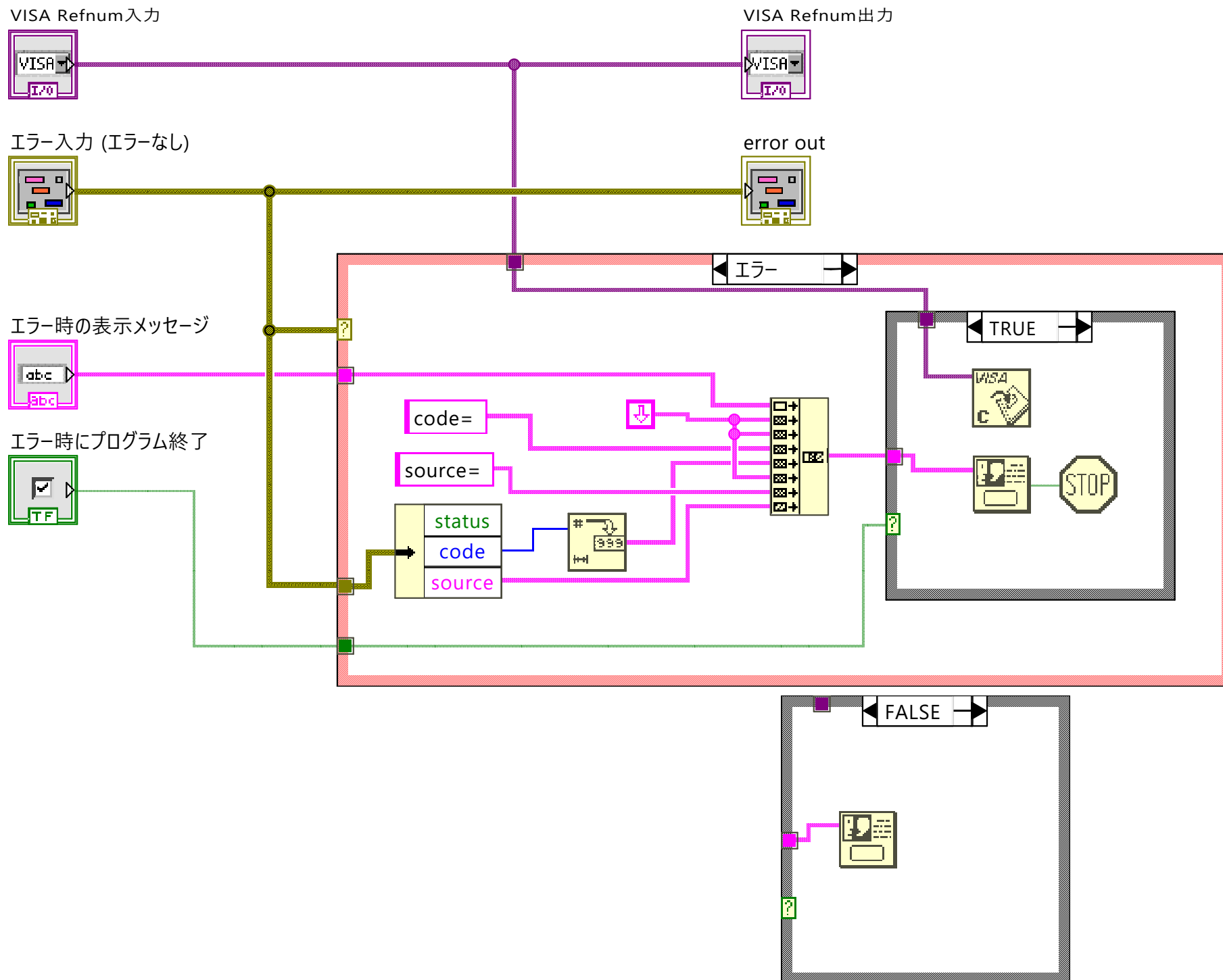
エラー時にプログラム終了

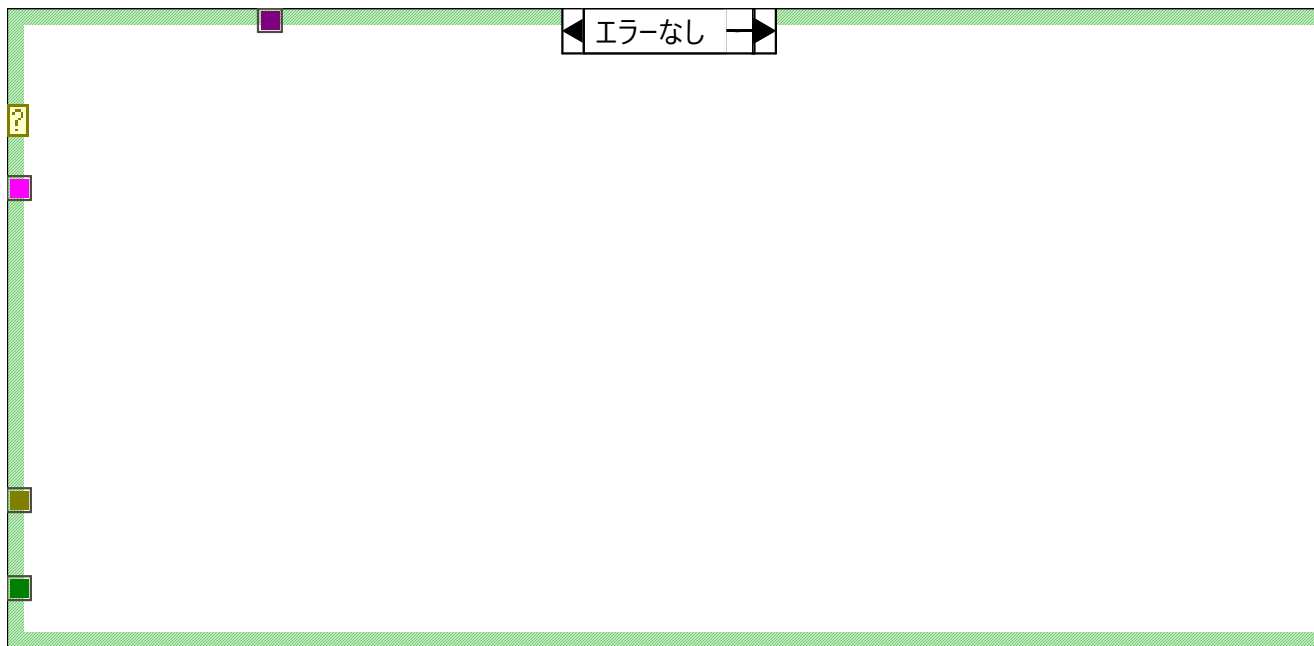
☒ する

エラー出力

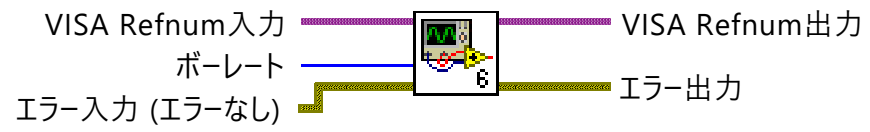
ステータス コード

ソース





## VISA Open.vi



VISA Refnum入力



ボーレート




エラー入力 (エラーなし)

ステータスコード




ソース

VISA Refnum出力



エラー出力

ステータス コード



ソース

インタフェースタイプが4(シリアル通信)の場合、シリアルポートのConfigを行います。

